

第1章

SS課題研究 I

都丸希和

(1) 仮説

生徒にとって身近な自然科学・ものづくりに関する体験活動を中学段階で扱うことで、様々なことに対し興味関心を持ち、自ら課題を設定する力を育むことができる。また、2年間で全科目から講座を選択することができるため、多岐にわたる分野に接し、多様な考え方を身につけることができる。これは、本校の高校における特設科目である「SS課題研究Ⅱ・STEAM」に繋がり、仮説検証を主体とした探究へと段階的に移行していく。

(2) 実践

中学2・3年生対象で、半期ごとに10講座の中から4つの講座を選択でき、2時間（50分×2コマ）の連続した授業を展開する。高校でのSS課題研究Ⅱ（科学倫理・数理探究）と密接に結びつくための講座を設定し、基礎的な研究を実践する。

(3) 評価

本授業では以下の観点に準じて評価をしている。

- ①事象への関心・意欲・態度
- ②創意工夫する能力
- ③学習内容をまとめ、表現する能力
- ④事象についての知識理解

生徒は実際に課外活動や実験を行うことで、新たな課題を発見し、さらに興味を広げることができた。（評価①）また、生徒同士交流を持ちながら学びを深めることで、広い視点を持つこともできたと考えられる。（評価③）

一方で、中学生自ら課題を見つけることは難しく、教師より提示されたものの中から課題を選ぶ者や、自ら選択した課題であっても、新たな観点を見出していくことが難しい生徒も見られた。（評価②）中学生という年齢に対して、教員がどのように働きかければ、自ら考える力を育むことができるかについて、より研究を進める必要がある。（文責 都丸希和）

〈講座内容一覧〉

講座名（中学2年生）	教科	講座名（中学3年生）	教科
食品化学実験から考える科学	理科	数学を楽しみ・作ってみよう！	数学
木のおもちゃを作ろう	技術	CGで表現しよう	美術
名大附属オリジナルスポーツ	体育	音楽をみんなに届けよう	音楽
地域の変化を地形図で探ろう	社会	日本の伝統刺し子と防染法で世界に1つのバンダナを作ろう	家庭
『源氏物語』を読んでみよう	国語	映画の英語表現を学んでみよう	英語